



# かたくり

令和3年10月

63号

25名の地域福祉サポーターが誕生!!

## 令和3年度 地域福祉サポーター養成講座



実践者インタビュー  
立田さん



株式会社コクア  
久米野さん



株式会社Re学  
川畑さん

「地域の高齢者の方のちょっとした困りごとをサポートする方を養成すること」を目的として、7月28日から全3回にわたって、地域福祉サポーター養成講座を開催しました。1回目は「山都町の地域福祉」、2回目は「高齢者の機能低下予防基礎知識と体操」、3回目は「認知症の理解と予防的アプローチ」をテーマに講座を行いました。

講座に参加いただいた皆様からは「自分の健康にも気をつけながら、出来ることを少しずつやっていこうと思います。」や「教えることは苦手だが、相手の話をしっかり聞いてあげることが出来る。そうだから取り組んでいきたい。」などの感想を頂きました。

今後は当講座で学んだ知識を活かし、サロンや地域でご活躍していただければと思っております。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

※コロナウイルス感染症対策を万全に行ない、実施しました。



**会長挨拶**  
梅田 穰

先の理事会に於いて会長に選任されました。町長職と兼任で御迷惑をおかけする事があるかと存じますがよろしくお願いたします。ご退任されました理事の津川則光様、監事の田中要様、田中今朝美様、そして理事の皆様におかれましては、長年に亘って社会福祉事業の重要性を深く認識され、山都町社会福祉協議会の基礎を作っていただいたことに心から感謝申し上げますと共に、今後とも尚一層の御支援をお願い申し上げます。

昨年の2月下旬に御船保健所管内において

新型コロナウイルス感染症の発生から約1年半が経過しましたが、未だに終息の兆しは見えず、全国的には連日2万人以上、県内でも200名以上、山都町でも昨年12月の発生以降、8月現在で40名を越えております。

社協の行事はもとより町としても三大祭りや多くのイベントを2年連続で中止せざるを得ず、町民の皆様にも多大の御迷惑をおかけしている所です。コロナ禍ではありますが、社協の介護、福祉事業を始め、一時の停滞をすることはできません。理事会を中心に職員の働きやすい職場づくりと人材確保と育成、そして町内事業所の方々との連携を密にして、山都町の社会福祉のあり方等を福祉課と協議をしながら進めて参ります。よろしくご指導いただきますようお願い致します。



**副会長挨拶**  
高木 康博

このたび、先日の理事会におきまして、副会長に再任されました。

少子高齢化、過疎化、コロナ禍において、地域の一人暮らし、夫婦二人のみ、高齢者のみの世帯が増加しております。町内に住んでおられる皆様の日々を安心、安全で過ごせるための地域づくりを目指し、様々な事業に取り組んでおります。

30地区福祉会、小集落単位で開催しております。ふれあいサロン等で民生児童委員、シルバーヘルパー、福祉委員等の関係者の皆様と一体となって高齢者の方との交流、生活支援等を地域で地域の支え合い活動を進めたいと思っております。

人生100年時代を迎え、毎日の生活に趣味を生かし、健康寿命を延ばすような取り組みを行政、社協、理事役職員、町内介護サービス事業所、外部の関係機関との連携を深め、町民の皆様が住んで良かった、住み続けたいと実感できる町づくりを自助・共助・公助を活かした地域福祉活動の中で努めたいと思っております。



**副会長挨拶**  
玉目 秀二

このたび、令和3年6月に開催された理事会において副会長に再任されました。微力ではありますが、地域福祉の充実と発展のため努力してまいり所存です。どうぞよろしくお願いたします。

昨年から新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活様式も一変しました。各地域での開催行事は縮小又は中止となり、地域のコミュニケーションが希薄化するのではと心配しています。コロナ禍の中、住み慣れた地域で支え合い安心して暮らせる福祉のまちづくりができるよう頑張りたいと思っております。

今後役員、職員一丸となって、地域の皆様とともに、地域に密着した取り組みを積極的に展開し、皆様にとって身近な存在となり、必要とされる社会福祉協議会を目指してまいります。

町民の皆様方のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いたします。

**理事・監事・評議員紹介**

任期満了に伴う新役員、新評議員の選任が行われ、それぞれ就任いただきました。また、会長には梅田穰理事、副会長については清和地区の高木康博理事と蘇陽地区の玉目秀二理事に就任いただきました。就任いただいた皆様には社協運営を担っていただきます。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



- 評議員12名**
- 渡邊 忠幸 (北中島)
  - 田中 大輔 (菅尾)
  - 藤川 一喜 (下市)
  - 後藤 裕司 (緑川)
  - 井手 邦男 (川野)
  - 辰本 清音 (目丸)
  - 荒木 貢 (下名連石)
  - 堀 孝之 (木原谷)
  - 後藤 秀志 (橘)
  - 松田 信雄 (米生)
  - 山中 敬夫 (高畑)
  - 本田 幸子 (万坂)

- 監事2名**
- 大塚 兼雄 (小峰)
  - 山本 祐一 (方ヶ野)
- 理事10名**
- 後藤美千代 (東竹原)
  - 井手 芳蔵 (滝上)
  - 玉目 秀二 (玉目)
  - 古閑 高年 (郷野原)
  - 梅田 穰 (柚木)
  - 坂本 憲義 (新小)
  - 中村 一義 (北中島)
  - 高木 康博 (太平)
  - 滝口美智子 (下市)
  - 鬼塚 弘子 (下馬尾)



# 令和2年度 山都町社会福祉協議会事業及び決算報告

5月24日開催の理事会並びに6月16日開催の評議員会で承認された事業及び収支決算について報告致します。

「5月24日理事会、6月16日評議員会において、事業報告並びに収支決算報告が承認されました。」

平成20年度から毎年行っておりました「福祉まつり」も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となるなど、多くの事業が制約を受けることとなりました。

こうした中、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを目指すため、「生活支援体制整備事業」について事業を展開しました。事業の成果発表の場として、「文化の森」において、矢部

高校食農科の生徒さんの「ユニバーサルデザインな衣服」の発表や障がい者施設利用者さんとの交流、緑科学科の作品展示など行いました。

介護事業においては、コロナ感染予防対策をとりながら、訪問介護サービスや通所介護サービス等実施しました。

介護事業部門においては、福祉人材不足と合わせて、今後の事業展開について、役員会を重ね中長期的な視点に立った取り組みについても事業所内での協議を行い、検討を進めて参ります。

## ○会務の運営

理事会（3回） 評議員会（3回）  
役職員研修（6回） 監査（3回）

## ○生活支援体制整備事業

30地区福祉会活動支援  
老人クラブ（シルバーヘルパー）活動支援  
地域の見守りについての懇談会（5地区7回）  
ボランティア協力校連携強化  
矢部高校家庭クラブ世代間料理教室（2回）  
手作り名人さん&矢部高校生作品展の開催  
サロン等活動支援（27回）  
レクリエーション道具貸出（12回）  
地域のお宝活動事例集第2弾発行

## ○地域福祉諸事業

地域支え合いセンター  
農作業で介護予防事業  
生活サポートセンター事業  
福祉・法律相談所の開設  
法人後見センター事業の開始  
地域福祉権利擁護事業  
生活福祉資金貸付事業・特例貸付受付  
生活困窮者等自立支援事業  
生活困窮者に対する緊急・一時支援事業（県補助事業）  
預かりサービス事業  
福祉用具貸与事業（8品：27回）  
各種福祉団体助成事業（41団体）

## ○ボランティア活動推進

災害ボランティアセンター設置訓練（県社協補助事業）  
7月豪雨災害ボランティア活動（2回）、職員派遣（2名）  
ボランティア協力校助成事業（町内10校）  
ボランティア連絡協議会「ゆいの会」活動支援

## ○広報活動

広報誌「かたくり」の発行（3回）  
ホームページの更新、Facebook新設  
マスコットキャラクター募集

しゃくりん



## ○会費・寄付金・日赤会費・共同募金実績

会費		寄付金	
一般会費	4,635件 4,637,000	一般寄付	7件 53,800
特別会費	91件 910,000	香典返し	169件 2,985,000
総額	5,547,000	総額	3,038,800

単位 (円)

日本赤十字社会費（社資）		赤い羽根共同募金	
社員総数	4,710人 2,769,001		4,648件 2,708,885

## ○社協管理高齢者住宅（令和3年3月末現在）

生活支援ハウス清楽苑（定員18名：入居者12名）  
大久保高齢者住宅（定員9名：入所者7名）  
買い物ツアー&食事会（3回）

## ○介護保険（予防）事業・障がい者総合支援事業

訪問介護、通所介護（清和・蘇陽）、居宅介護支援の4事業の経営  
障がい者への訪問介護事業、移動支援事業の経営

※尚、詳細につきましてはホームページをご覧ください。

## 令和2年度 社会福祉法人山都町社会福祉協議会法人会計決算書

### 法人会計資金収支決算書

単位：円

収入	金額	支出	金額
会費収入	5,547,000	人件費支出	195,212,358
寄附金収入	3,230,264	事業費支出	24,382,490
経常経費補助金収入	28,058,800	事務費支出	16,801,978
受託金収入	42,239,800	共同募金配分事業費	1,940,344
共同募金配分金収入	1,940,344	助成金支出	1,795,260
事業収入	4,679,650	その他支出	97,752
介護保険事業収入	148,030,972	固定資産取得支出	4,473,172
障害福祉サービス事業等収入	3,307,490	積立資金支出	1,302,314
助成金収入	0	拠点区分間繰入金支出	0
受取利息配当金収入	12,516	サービス区分間繰入金支出	0
その他の収入	344,441	その他の活動による支出	0
施設整備等寄附金収入	3,654,000		
積立資産取崩収入	9,707,482	予備費支出	0
拠点区分間繰入金収入	0		
サービス区分間繰入金収入	0		
その他の活動による収入	0		
収入合計 ①	250,752,759	支出合計 ②	246,005,668

収入合計 ① - 支出合計 ② = 4,747,091

### 貸借対照表

単位：円

資産の部		負債の部	
流動資産	135,811,445	流動負債	17,139,215
現金	0	事業未払金	12,487,907
預貯金	103,591,908	預り金	10,026
事業未収金	30,955,562	職員預り金	161,282
未収補助金	1,089,000	仮払金	0
立替金	174,975	賞与引当金	4,480,000
仮払金	0	固定負債	39,240,641
固定資産	110,540,811	退職給付引当金	39,240,641
基本財産	3,000,000	負債の部合計	56,379,856
その他の固定資産	107,540,811	純資産の部	
		基本金	3,000,000
		国庫補助金等特別積立金	2,226,807
		その他の積立金	65,929,808
		次期繰越活動増減差額	118,815,785
		(うち当期活動増減差額)	3,931,910
		純資産の部合計	189,972,400
資産の部合計	246,352,256	負債及び純資産の部合計	246,352,256

# 令和2年度山都町社会福祉協議会 特別会員紹介

ご協力ありがとうございました。



令和2年度特別会員の加入をお願いしたところ、上記の団体・個人様よりご協力を賜りました。地域福祉諸事業に役立たせていただきます。

順不同 敬称略

会社名	代表者	住所
平山商店	平山 洋一	馬見原
蘇陽葬祭株式会社	木村 修正	馬見原
有限会社 工藤石油	工藤 一郎	馬見原
有限会社 マルカプロパン	甲斐 哲	馬見原
中原鮮魚店	中原 秀人	馬見原
長久寺	山本 生成	馬見原
株式会社 共生	吉玉 薫	馬見原
他力鮮魚店	他力不二雄	馬見原
蘇陽調剤薬局	岩下 琢史	滝上
特別養護老人ホーム 蘇望苑	黒木 久忠	滝上
スーパームイツィー 馬見原店		滝上
ヒロセ自動車	廣瀬 克美	滝上
(株)今村建設	今村 将文	今
阿蘇農業協同組合 蘇陽支所		今
有限会社 サンクス商会	田上 文寛	今
(医) 緑水会 山口医院	山口 省之	菅尾
まこと薬局	木山 誠	菅尾
有限会社 江藤自動車	工藤 豊寛	柏
社会福祉法人御陽会 明星学園	武元 典雅	神ノ前
幣立神宮	春木 伸哉	大野
(有) 荒木自動車	荒木 孝生	大平
(有) 古閑石油	古閑 高年	大平
清和建設	武原 公洋	大平
(有) 青柳自動車	青柳 高義	大平
ニューヤマザキデパート山都清和店	岩本 勇次	大平
上益城農業協同組合	梶原 哲	大平
せいわ歯科クリニック	石井 洋一	大平

会社名	代表者	住所
文楽の里協会	坂本美喜雄	大平
清和資源	甲斐 敬一	仏原
(有) 佐藤商会	佐藤 博信	仮屋
有限会社 矢部電装	梅田 忍	上寺
三栄総合建設株式会社	糸永 哲夫	上寺
有現会社 甲斐工業	後藤 正先	上寺
社会福祉法人二栄会浜町乳児保育園	後藤 峰晴	上寺
社会福祉法人 日生会 浜美荘	門川 次子	上寺
緑川森林組合	坂田鉄太郎	下馬尾
医療法人 杏章会 矢部広域病院	坂本 達彦	下馬尾
高福寺	鬼木 大慈	浜町
ヘアスタジオ 和	丸田 和子	浜町
株式会社 肥後銀行 浜町支店	河野 賢吾	浜町
レストランシヤトウ	藤本 孝範	浜町
日本料理 紗陶	藤本 博己	浜町
ミズノ文豊堂	水野 鋭一	浜町
医療法人 潤幸会	伴 俊幸	浜町
株式会社 熊本銀行 浜町支店	吉村 慎一	浜町
株式会社 協信工業	田辺 成一	浜町
有限会社 熊日矢部販売店	中村 嘉宏	浜町
有現会社 坂梨薬局	坂梨 光	浜町
医療法人 萌歯会 浜町歯科医院	岩本 知之	浜町
片山生花造花店	片山 裕	浜町
ヨシイ印刷所	吉井 誠	浜町
医療法人社団 皆晴会 野田医院	野田 秀喜	浜町
矢部開発株式会社	上田 信	南田

会社名	代表者	住所
九州日誠電気株式会社	河原 康文	南田
西邦電気工事株式会社 山都営業所	上田 勝徳	南田
眞乗寺	眞野 円理	男成
株式会社まちづくりやべ	西田 毅	男成
社会福祉法人 愛郷会御岳保育園	飯星 敬一	男成
藤岡建設	藤岡 孝行	川野
社会福祉法人 あかつき会 明光保育園	赤星 光洋	白小野
ラフイーヌ やまびこ	緒方 令則	新小
西海寺	高村 尚丸	長原
(一社) 山都町シルバー人材センター	西田 孝祐	千滝
社会福祉法人 徳生会 風ノ木	上田 公成	千滝
医療法人 高田会 高田整形外科クリニック	高田 憲志	城平
株式会社 みずほ環境公社	高畑 博史	城平
山下でんき	山下 雄一	下市
株式会社 坂本建設	中崎 晃紀	下市
株式会社 山都水道機工	荒木 大介	下市
医療法人社団 志楽会 坂本クリニック	坂本 充徳	下市
有現会社 まるはタクシー	浜田 征紀	下市
山都町商工会	田辺 成一	下市
医療法人 幸翔会 瀬戸病院	瀬戸 浩司	北中島
特別養護老人ホーム 矢部大矢荘	井上 晃裕	北中島
有限会社 大谷清掃公社	大谷 啓之	金内
個人	西田 孝祐	井無田
山都町社会福祉協議会役員	10名	
山都町社会福祉協議会職員	5名	

## 各地区の紹介

### 矢部地区

#### 千滝健康クラブ

今回、取材させていただいた「千滝健康クラブ」は町で行われた講習会をきっかけに、平成26年11月から千滝地区独自で活動をされており、今年で7年目になるそうです。大雨やコロナウイルスの影響により、2カ月ぶりの開催となる今月の活動は感染対策を万全に行ないながら、時間を短縮して行われました。

始めに映像を見ながら、簡単な体操とラジオ体操第2を行い、その後は新聞紙で作成した棒を使ったストレッチ体操を無理のない範囲で行いました。

参加者の方からは「家にいるよりこのように集まった方が健康にもいい」や「この集まりは見守りや安否確認にもなる」などの声が聞かれました。

今後もコロナ禍における工夫を行いなから、明るく楽しい活動を続けられてください。



### 清和地区

#### 堂守をされる飯屋さんご夫婦

9月3日に郷野原の飯屋昭信さん・サミコさん夫婦が手入れを行われているお堂を取材させて頂きました。

お堂については昭和60年の5月にお父様から引き継ぎ、それ以降は毎月18日に夫婦そろってお堂の手入れを行っているとのこと。

取材の中では「お堂の建てられていた周辺は戦時中には修練場や防空壕があり、ケヤキの花が咲いていたこともあったそうだ。」などの昔話を楽しそうに語られました。

歴史ある建物と緑の生い茂るどこか懐かしい風景がとても素敵でした。これからも夫婦仲良くお堂の手入れを続けられてください。



### 子ども・地域食堂×矢部高校 家庭クラブ コラボ弁当を販売しました。

8月17日に毎月恒例の子ども・地域食堂の弁当販売が行われました。

今回、販売されたお弁当のメニューは矢部高校 家庭クラブの生徒の皆さんが発案したオリジナルメニュー（豆腐ハンバーグ、焼き米のキッシュ）と帯紙になっています。

大雨警報により、生徒さんが調理に参加することはできませんでしたが、お弁当は無事に完売しました。



### 蘇陽地区

#### いざという時の備え！ 災害用備蓄食糧品セットの配付

馬見原自治振興区自主防災組織では、8月上旬、馬見原地区全340世帯に災害用備蓄食糧品セットを配付されました。これまで、避難所には食糧品等を備蓄されていましたが、避難されない（出来ない）方へは物資が行き届いていなかったことから、今回初めて全戸配付に取り組みました。受け取られた方からは、「備蓄品を準備しておく必要性を改めて感じるとともにその意識付けになった」、「備蓄品を揃える大変さもあり、今後、地域の中で供給・補充出来る体制が出来れば」といった声が聞かれました。今後も自主防災組織の活発な活動の継続と、地域住民の防災への意識付けに取り組んでいただければと思います。



そよう病院内売店「まみはら屋」で購入出来ます！



各地区の区長さんが手分けして配付されました

## こんなことに困っていませんか？

収入はあるのに家計が苦しい

公共料金に滞納がある

求職活動がうまくいかない

債務の返済で困っている

相談相手がいない

失業して、家賃が払えない

などのお悩みのある方はひとりで抱え込まずにご相談ください。  
詳しくは各事務所へご相談ください。

**秘密厳守  
相談無料です**

## 掲 示 板

### 令和3年度 日本赤十字社山都町分会費(社資)実績報告



令和3年9月1日現在  
件数4,391件  
金額2,200,002円

本年度も皆様の温かいご支援とご協力により、多額の会費を頂きまして、誠にありがとうございます。頂いた会費は全額を日本赤十字社熊本県支部に送金し日本赤十字社の様々な活動に役立てられます。

### 赤い羽根共同募金



令和2年度の実績

募金種類	件数	金額
戸別募金	4,603	2,036,000
法人募金	19	201,000
学校募金	7	46,542
職域募金	7	108,670
個人募金	1	2,000
その他	11	314,673
合計	4,648	2,708,885

本年度も10月1日から全国で赤い羽根共同募金運動が始まります。山都町でも、区長、組長、世話係の皆様に取りまとめを依頼し、運動を実施いたします。皆様のご支援とご協力をお願いします。

### 社協一般会費のお礼

本年度も山都町全世帯を対象に8月から一般会費の協力をお願い致しました。社協会費は住民の皆様が住み慣れた地域で安心して過ごせるように「住民主体」の原則のもと、地域福祉諸活動に役立てて参ります。実績については次号のかたくりにてご報告させていただきます。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

### やまと文化の森 展示についてのお知らせ

11月にやまと文化の森で開催予定の「第2回おたっしゅ作品展」にて社協の展示・体験ブースを設けます。ブース内では矢部高校 家庭クラブの活動紹介、林業科学科が作成した認知症予防パズルの体験会を行う予定です。

### 福祉まつり 中止のお知らせ

例年、11月に開催しております『福祉まつり』は今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止とさせていただきます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および社協会費、寄付金の一部で作成しています。